

北海道浮魚ニュース

平成 23(2011)年度 7 号

2011 年 7 月 4 日

地方独立行政法人北海道立総合研究機構水産研究本部

釧路水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.hro.or.jp/ukiuo/uki_index.htm

道東太平洋マサバ・マイワシ漁期前調査結果

北辰丸(釧路水産試験場調査船)によって行われたマサバ・マイワシ漁期前調査の結果をお知らせします。

調査期間

2011 年 6 月 21 日～6 月 29 日

調査海域および調査点

道東～三陸沖合太平洋海域

(北緯 38 度 20 分～42 度 30 分、東経 143 度 00 分～146 度 30 分 : 親潮系冷水域および黒潮系暖水域)における 8 調査点(図 1)。

調査方法

10 種類の目合(22・25mm : 30 間切り各 1 反、29・37mm : 30 間切り各 4 反、48mm : 60 間切り 2 反、55・63・72・82mm : 60 間切り各 1 反、182mm : 60 間切り 15 反)の流し網を用いた漁獲試験。

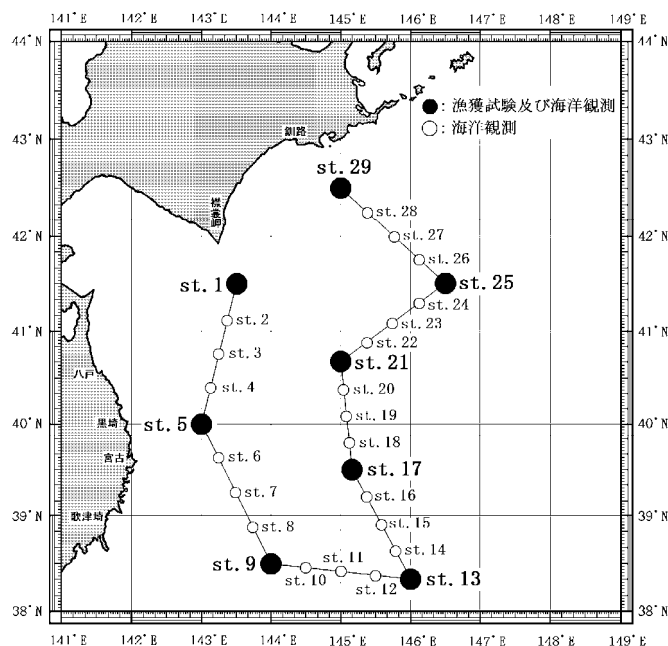


図1 漁獲試験調査点

調査結果

漁獲試験を行った 8 調査点の表面水温は 11.2～18.3 (前年 : 14.4～19.2)、50m 層は 1.6～11.2 (前年 : 1.8～13.2)、100m 層水温は 1.6～9.8 (前年 : 0.8～10.3) でした(表 1)。

表1 水温および魚種別採集尾数

st.	1	5	9	13	17	21	25	29	合計
表面水温()	11.7	16.5	18.3	14.9	13.8	17.1	12.2	11.2	
50m水温()	2.6	6.9	10.2	4.7	4.5	11.2	4.0	1.6	
100m水温()	1.6	6.0	9.5	2.3	2.7	9.8	2.2	1.9	
サバ類		73	303	383	125	126	63		1,073
マイワシ	10	389	9		8	415			831
カタクチイワシ	12,173	18,046	23	37	26	39	5	55	30,404
サンマ		528	3	4	3	70	13		621
スルメイカ	7	29	9	39	42	23	105	71	325
アカイカ			14						14

調査点別の魚種別漁獲尾数(表1)および流し網調査1回当たりの漁獲尾数(CPUE)の経年変化(図2、4、6、8、10、11)ならびに漁獲試験で採集され漁獲物(図3、5、7、9)は以下のとおりです。

・サバ類(マサバ、ゴマサバ)

6調査点で63~383尾、合計1,073尾漁獲されました(表1)。

CPUEは134.1尾/回で、前年の389.8尾/回を下回りましたが、1994年以降では2番目に高い値を示しました(図2)。

しかし、国の資源評価¹⁾によれば、資源水準は依然低い状態にあるものと思われま

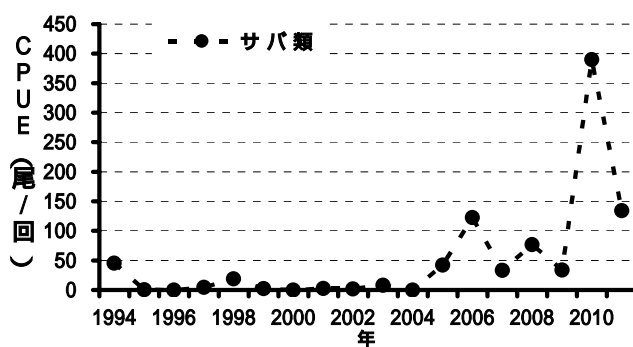


図2 調査1回当たり漁獲尾数(CPUE)の経年変化(サバ類)

魚体は尾叉長18~40cm台で、31cm台が主体(前年:28cm台主体)でした(図3)。

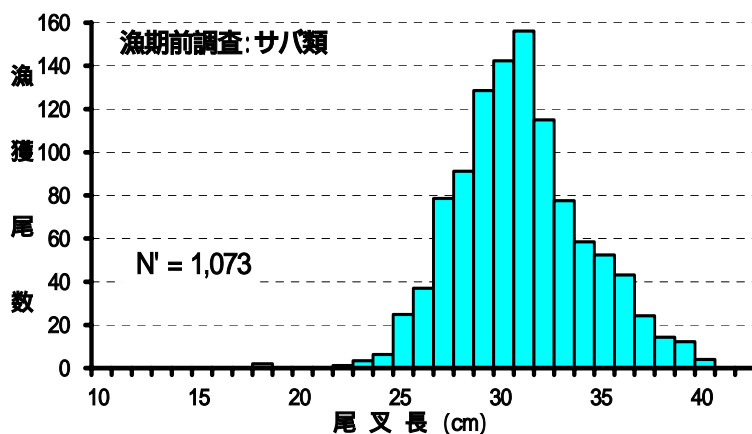


図3 サバ類の漁獲物体長組成

・マイワシ

7 調査点で 8~415 尾、合計 831 尾漁獲されました(表 1)。

CPUE は 103.9 尾/回で、前年の 110.5 尾/回を下回りましたが、1994 年以降では 2 番目に高い値を示しました(図 4)。

しかし、国の資源評価¹⁾によれば、資源水準は依然非常に低い状態にあるものと思われま

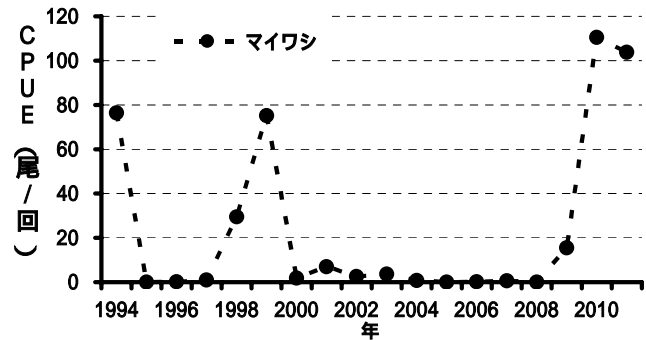


図4 調査1回当たり漁獲尾数(CPUE)の経年変化(マイワシ)

魚体は体長 13.5~17.5cm 台と 19.5~24.5cm 台で、16.0cm 前後の個体が主体(前年:21.5cm 台主体)でした(図 5)。

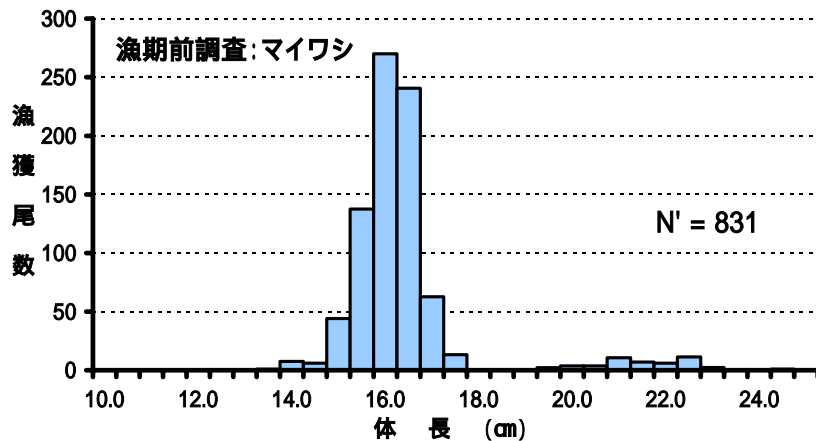


図5 マイワシの漁獲物体長組成

・カタクチイワシ

8 査点で 5~18,046 尾、合計 30,404 尾漁獲されました(表 1)。

CPUE は 3,800.5 / 回で、前年の 5,144.3 尾/回を下回りましたが、1994 年以降では 3 番目に高い値を示しました(図 6)。

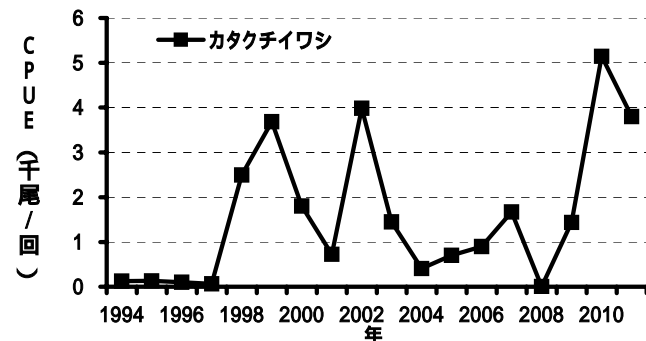


図6 調査1回当たり漁獲尾数(CPUE)の経年変化(カタクチイワシ)

魚体は体長 11.5 ~ 14.5cm 台で、13.0cm 台が主体（前年：12.5 cm 台主体）でした（図 7）。

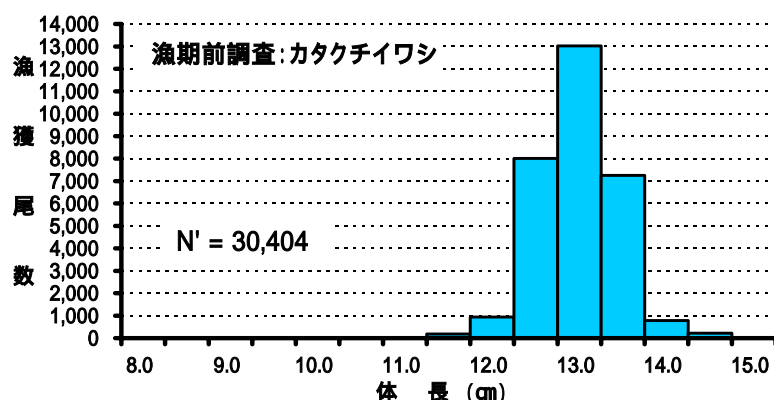


図7 カタクチイワシの漁獲物体長組成

・サンマ

6 調査点で 3 ~ 528 尾、合計 621 尾漁獲されました（表 1）。

CPUE は 77.6 尾 / 回で、前年の 92.6 尾 / 回を下回りましたが、1994 年以降では 5 番目に高い値でした（図 8）。

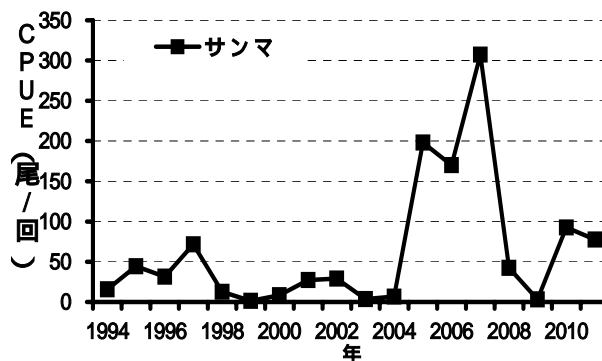


図8 調査1回当たり漁獲尾数(CPUE)の経年変化(サンマ)

魚体は肉体長 16 ~ 33cm 台で、30cm 台が主体（前年：30cm 台主体）でした（図 9）。

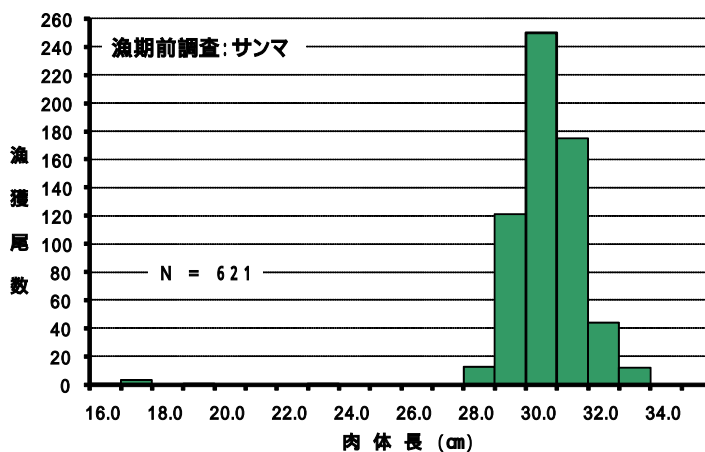


図9 サンマの漁獲物肉体長組成

・スルメイカ

8 調査点で 7~105 尾、合計 325 尾漁獲されました（表 1）。

CPUE は 40.6 尾 / 回で、前年の 3.1 尾 / 回を大きく上回り、1994 年以降では最も高い値でした（図 10）。

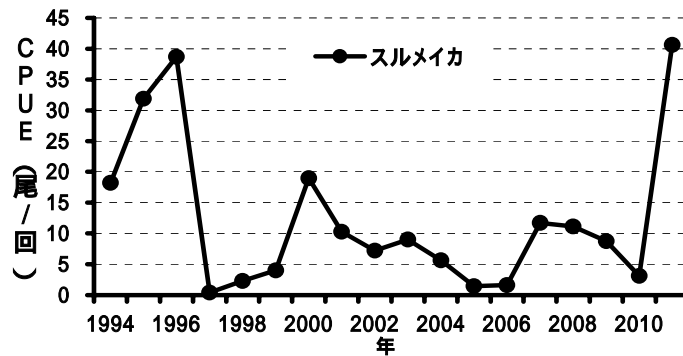


図 10 調査 1 回当たり漁獲尾数 (CPUE) の経年変化 (スルメイカ)

・アカイカ

1 調査点で 14 尾、合計 14 尾漁獲されました（表 1）。

CPUE は 1.8 尾 / 回で、前年の 1.4 尾 / 回を僅かに上回りましたが、1994 年以降では低い値でした（図 11）。

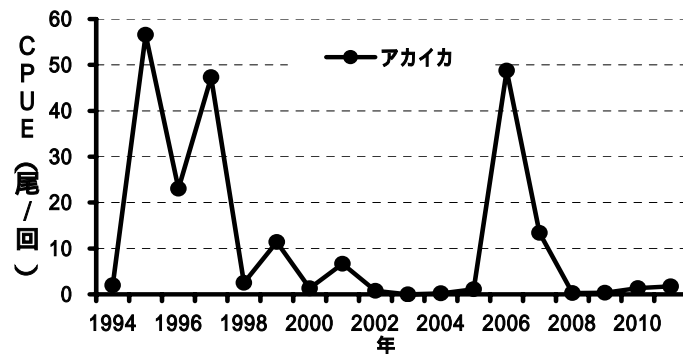


図 11 調査 1 回当たり漁獲尾数 (CPUE) の経年変化 (アカイカ)

1) 資源評価に関するホームページ：<http://abchan.job.affrc.go.jp/>

来る 7 月 27~28 日に、クイーンズタワー B 7 階 (横浜市西区みなとみらい) で長期漁海況予報会議が開催され、今回の調査結果を含めた各機関の資料を基に、漁況予報が発表される予定です。

(文責：道総研 水産研究本部 釧路水産試験場 調査研究部、
直通電話：0154-23-6222、FAX：0154-23-6225)